

対象	小学校中学年以上
教科	社会科 等
該当 単元	「きょう土のはっ てんにつくす」
教科書	東京書籍等
掲載日	2019. 12. 3 朝刊 東海本社版 1 面

スプリンクラーから噴き出た水が茶園を潤す。牧之原市の牧之原山本園で



水乏しい台地の不安



① 寸又峡 ② 接岨湖 ③ 川根温泉
④ 銚酒の里

大井川流域の牧之原台地には、国内全園の一割を超える五千鈴の広大な茶園が広がる。日本一の茶どころも、明治初期までは荒廃地。駿府に蟄居した徳川慶喜に同行した旧幕臣たちが

スプリンクラーから深緑の茶園に水が振りかけられ、虹が生まれた。「根が動き始め、生育が始まる冬場も、肥料を吸わせるために水分は欠かせない」。牧之原市で茶業を営む山本守日瑚さん(63)は水のありがたさを語る。

⑤ 茶どころ



刀を鋤に持ち替え、開墾した。お茶に適した日照時間の長さ、昼夜の温度差は高台の特性だが、当時から水不足に悩まされた。

山本さんの先祖も、慶喜を護衛し、江戸から移った一人。「水利の乏しいこの場所ので、よくこまで発展した」と感嘆する。

長年の国営事業で農業用水が完成したのは一九七〇年。川口発電所の取水口(島田市)から導水路で水を運ぶ。組合ごとに供給量を決め、農家に分けている。かつては雨水や台地の下まで何往復もして水をためた。リニア着工による流量減少への不安は当時の辛苦を思い起こさせる。「栓をひねれば水が出るのが当たり前だからこそ、安心して茶を生産できる」。旧幕臣の末裔はしみじみと語る。

文・三宅千智
写真・立浪基博

問1：牧之原台地の茶園について、合う数字を（ ）に書きましょう。

国内全園の（ ）割を超える（ ）ヘクタールの広大な茶園。

問2：牧之原台地の茶園を開墾したのは、どんな人ですか。

（ ）

発展：茶業を営む人は、リニア着工の何を不安に思っているのでしょうか。